

伏見小だより



伏見っ子

平成30年度2月号

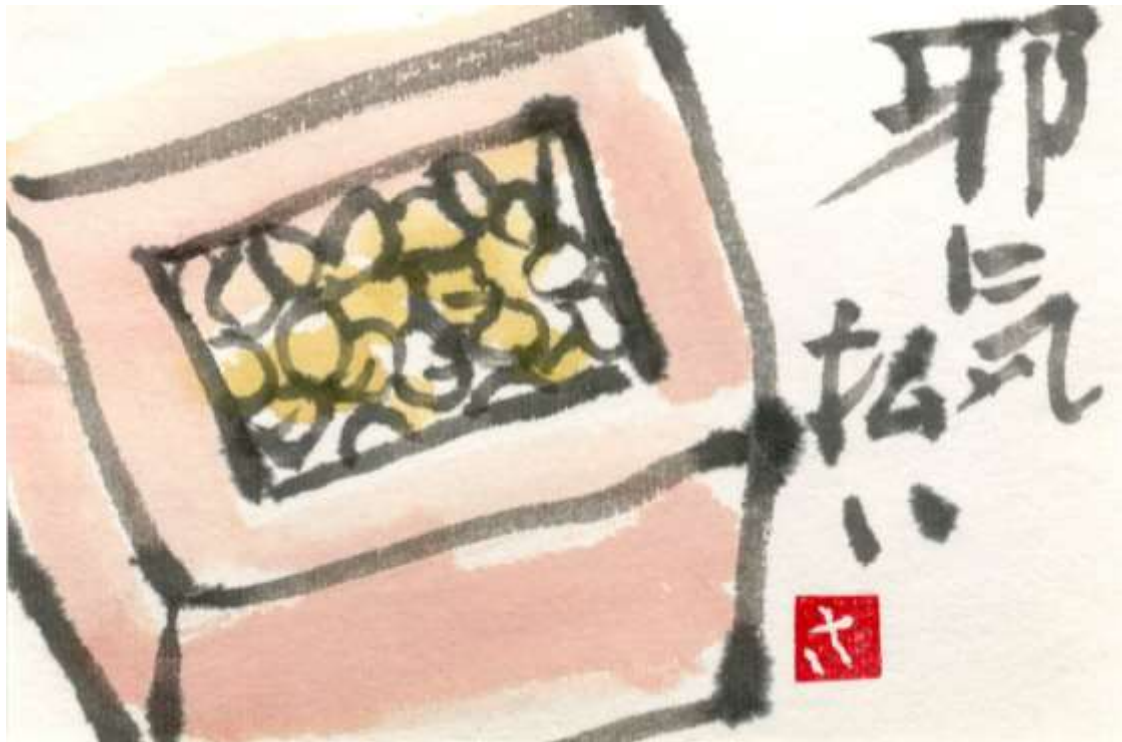
H31.1.28発行

学校の教育目標

よく考え仲間とかかわって
行動できる子

おにはそと、ふくはうち

校長 佐野 政紀



寒波が訪れ、全国各地で雪の被害が出ているところです。伏見地区でも路面凍結等、寒さの影響は少なからずあります。あわせてインフルエンザが猛威をふるっています。手洗い、うがい、マスクの着用等の予防をしっかりと、運動、睡眠を十分とり、引き続き体調管理に心がけていただきたいと思います。

今年は2月4日が「立春」です。暦の上では春になります。少しずつですがあたたかくなり、植物の芽も少しずつ膨らんでいきます。「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と季節の変わり目がありますが、その前日を「節分」と言い、江戸時代から「立春」の前日（2月3日）だけを「節分」というようになったそうです。「節分」には、家から鬼を追い払うために、まめまきをするという伝統行事があります。諸説あるようですが、その一説として、季節の変わり目には邪気（鬼）が生ずると考えられており、その邪気を追い払うために、豆をまくということだそうです。私は今年も「鬼は外、福は内」という掛け声も出しながら、1年無事に過ごせますようにという強い願いを込めて、豆まきをします。

さて、学校では大きな行事はほぼ終わり、1年間の学習のまとめをし、卒業式に向けて全校あげて準備をすすめていく時期となります。春はそこまで来ています。

伏見小

検索

【新元号】大正→昭和→平成→。何になるのかな。小郷先生（図書司書）が図書室に応募箱を設置してくださいました。興味のある子は応募してみましよう。和やかな時代を願って。私の予想は「和来…ワライ」。